

1-5 CAD データの作成

1-5-1 CAD データファイルのフォーマット

本基準（案）で対象とする CAD データのフォーマットは、SXF（P21）形式とする。

【解説】

SXF（Scadec data eXchange Format）は、STEP AP202（製品モデルとの関連を持つ図面）規格を実装した CAD データ交換標準である。これは、「CAD データ交換標準開発コンソーシアム（SCADEC）（平成 11 年 3 月～平成 12 年 8 月）」、「建設情報標準化委員会 CAD データ交換標準小委員会（平成 12 年 10 月～平成 19 年 6 月）」、「建設情報標準化委員会 図面/モデル情報交換小委員会（平成 19 年 7 月～）」（いずれも事務局は（財）日本建設情報総合センター）にて策定されたもので、ISO TC184/SC4（STEP 規格を審議する国際会議）にて、STEP 規格を実装したものであることが認知されている。

SXF の物理ファイルには国際標準に則った「P21 形式」と国内 CAD データ交換のための簡易形式である「SFC 形式」の 2 種類がある。本基準（案）では、SXF（P21）形式のバージョンとレベルは、SXF Ver.2.0 レベル 2 以上を対象としている。

本基準（案）では、土木構造物のライフサイクルを考慮し、納品されたデータが半永久的に閲覧・編集できるよう永続性を確保すること、また、国外企業の参入を妨げないことが必須であるため、CAD データファイルのフォーマットに SXF（P21）形式を採用した。

SXF に関しては、CAD 運用ガイドライン（案）に位置づけ等が記述されている。